

Ⅲ 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成 28 年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、28 年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

| | |
|------------------|--------------|
| ・新 8 号館建設 | 1,580,611 千円 |
| ・ききょう記念ホール天井改修 | 34,992 千円 |
| ・5 号館設備備品更新 | 16,792 千円 |
| ・如修塾設備改修 | 15,520 千円 |
| ・動物実験施設運営委託 | 13,349 千円 |
| ・地域連携サテライトセンター建設 | 12,967 千円 |
| ・学長裁量経費による学内共同研究 | 12,914 千円 |
| ・講義収録システム更新 | 12,463 千円 |
| ・医薬品費用対効果評価分析受託 | 5,809 千円 |
| ・実験動物 S P F 化 | 4,595 千円 |

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では、補助金収入が見込額を下回りましたが、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入、受取利息・配当金収入、雑収入が見込額を上回ったことなどにより、総収入は 6,883 百万円と予算を 42 百万円上回りました。

また、支出面では、予算執行の見直しや経費節減に努める一方で、新 8 号館建設費の支払いや各種引当資金への積増し等を行った結果、翌年度繰越支払資金は対前年度比 141 百万円増の 1,423 百万円となりましたが、前受金収入 433 百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 事業活動収支計算書（総括表）

事業活動収支については、収入面では資金収入に現物寄付を加算計上し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算し、さらに基本金組入額を控除した結果、当年度収支差額は 309 百万円の支出超過となり、前年度からの繰越収入超過額 1,066 百万円が減少し、翌年度への繰越収入超過額は 757 百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において六甲キャンパスの売却や減価償却の進捗がありましたが、新 8 号館建設や第 2 号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では 746 百万円増加し、25,374 百万円となる一方、負債総額は 6 百万円減少し、1,485 百万円となり、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ 752 百万円（3.2%）増の 23,889 百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過年度の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・ 資金収支の状況
 - ・ 活動区分資金収支の状況
 - ・ 事業活動収支の状況
 - ・ 貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録